

TOTO

ボールタップ(交換手順)

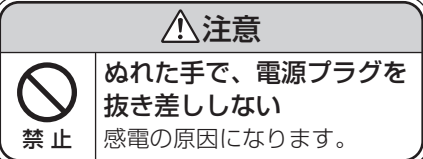
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

交換前作業

※交換前に下記 ①～③ の作業を実施してください。

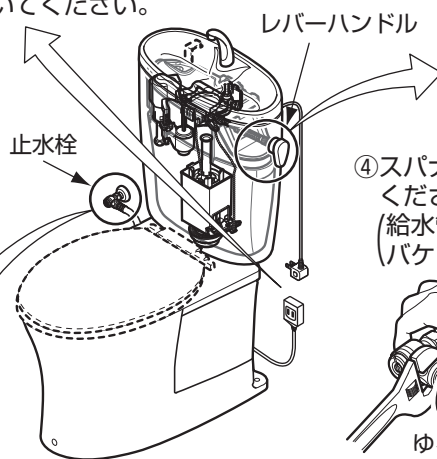
① タンク内の水を流す

①ヒーター用プラグをコンセントから抜いてください。
(水抜き方式のみ)



②止水栓を閉めてください。
(マイナスドライバーで
右に回す。)

※代表例として、ピュアレストEX
(SH321BF系)の図を使用しています。

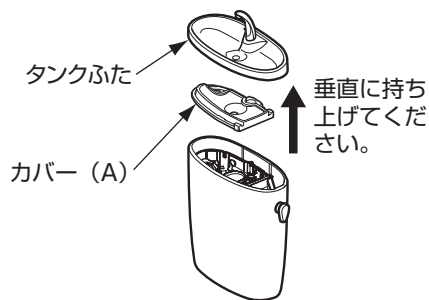


③タンク内の水を流してください。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して)
完全に水を抜いてください。)

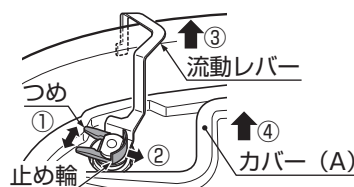
④スパナで袋ナットを外し、給水管を外してください。
(給水管内の水が若干量流れ出ますので)
バケツなどの容器で受けてください。)



② タンクふたとカバー(A)を外す

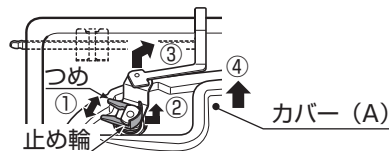


〈SH320/SH321BF系の場合〉



一般地の場合 水抜き方式の場合	カバー (A) を持ち上げてそのまま外します。
流動方式の場合	※流動方式の場合は、流動レバーを外さないと、カバー (A) が外せないのでご注意ください。 ①止め輪のつめ部分を広げます。 ②止め輪をスライドさせ、外します。 ③流動レバーを外します。 ④カバー (A) を持ち上げて外します。

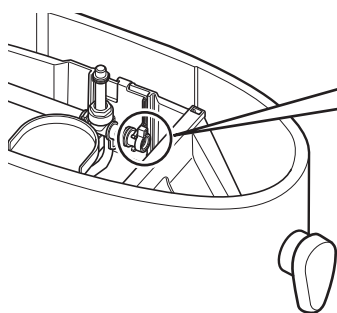
〈SH220/SH221BF系の場合〉



ポイント
タンクふたは落とさないように
注意する
破損してけがをするおそれがあります。

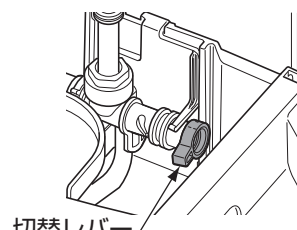
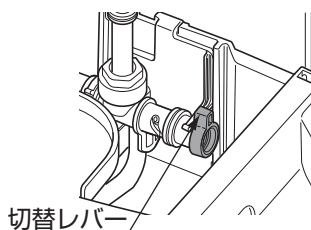
※代表例として、ピュアレストEX
(SH321BF系)の図を使用しています。

③ 切替レバーの向きを確認する



つまみが上向き (補給水なし)

つまみが前向き (補給水あり)

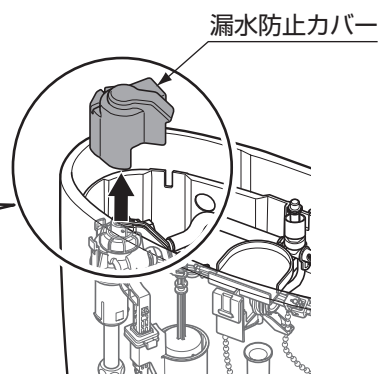
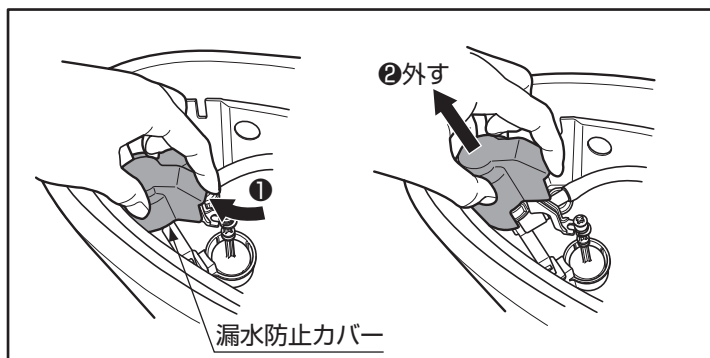


※部品の交換後に、切替レバーの向きを交換前の状態に合わせる必要があります。

交換手順

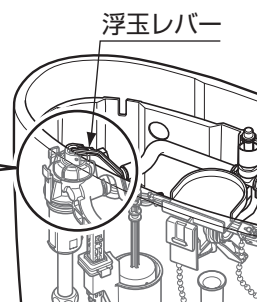
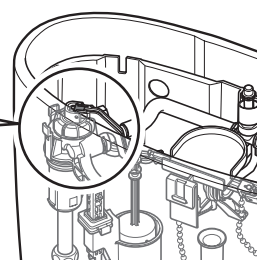
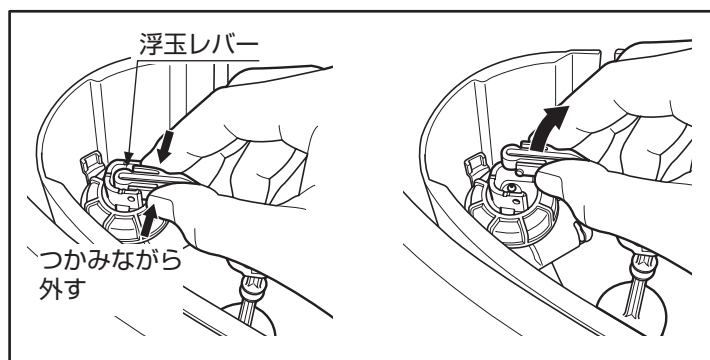
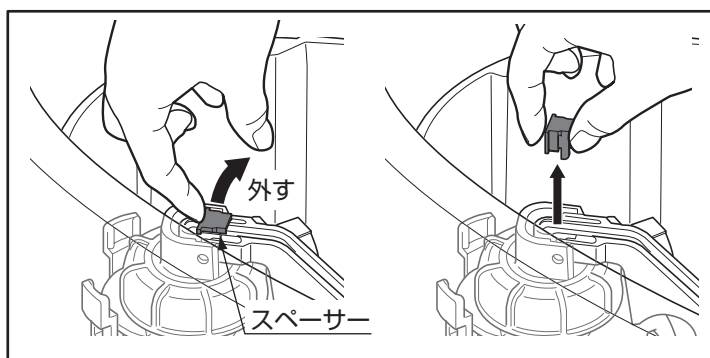
④ 漏水防止カバーを取り外す

※図のように人差し指で引っ掛けてから持ち上げると比較的容易に外れます。

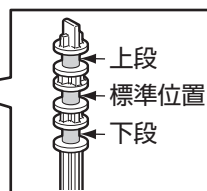
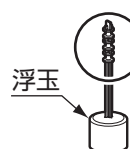


⑤ 浮玉レバーを取り外す

・スペーサーを外して、浮玉レバーをつまんで取り外す。

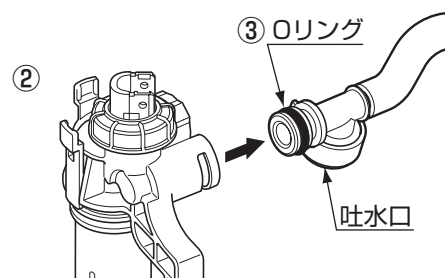
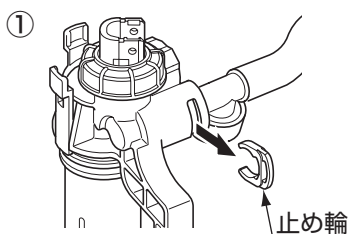


※浮玉取付位置を確認しておいてください。
取り付け時に同じ位置にセットする必要があります。
※代表例として、ピュアレストEX(SH321BF系)の
図を使用しています。



⑥ ボールタップ本体と接続している吐水口を取り外す

- ① 止め輪を引き抜く。
※止め輪を落とさないように注意してください。
- ② 吐水口を取り外す。
- ③ 吐水口部のOリングを新しいものに交換する。(同梱部材)

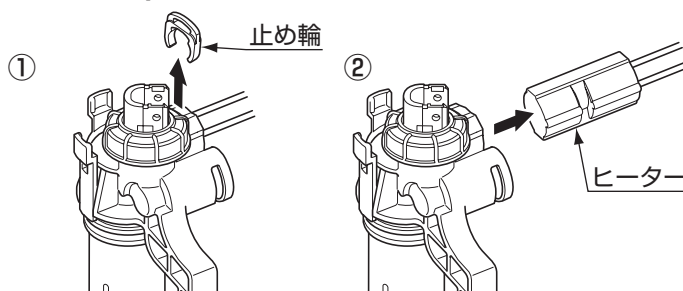


7 ヒーターを取り外す(ヒーター付きのみ)

①止め輪を引き抜く。

②ヒーターを引き抜く。

※ヒーターの本体を持って引き抜いてください。

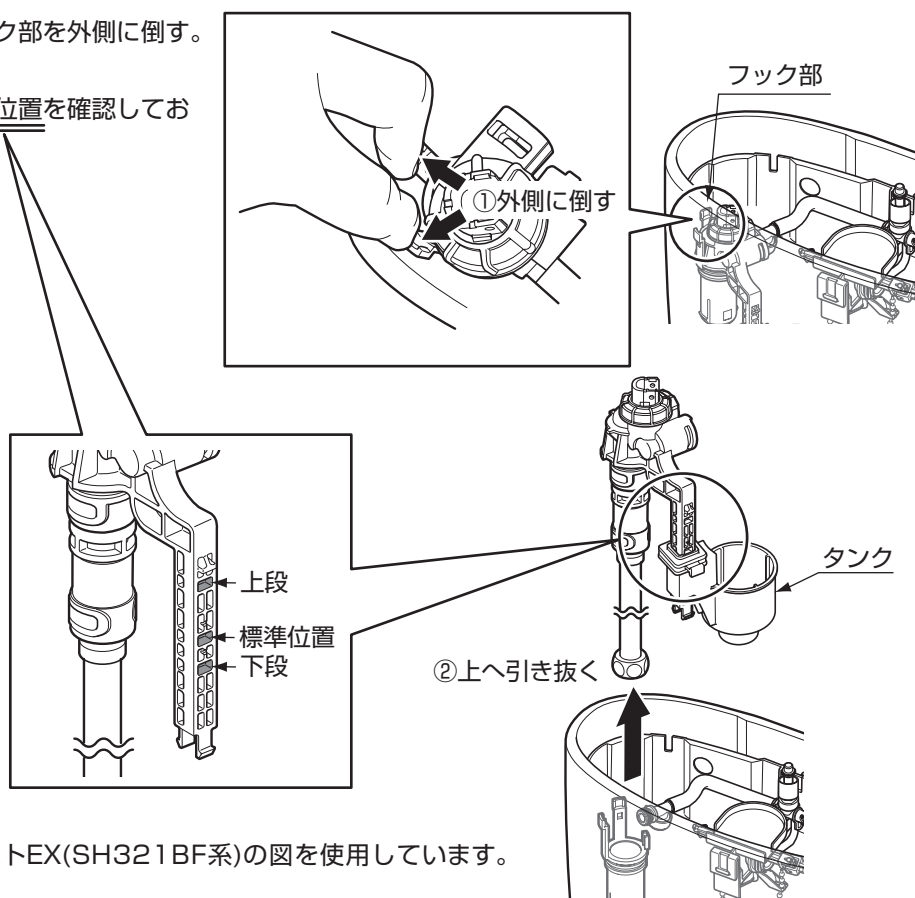


8 ボールタップを取り外す

①ボールタップ固定具のフック部を外側に倒す。

②ボールタップを引き抜く。

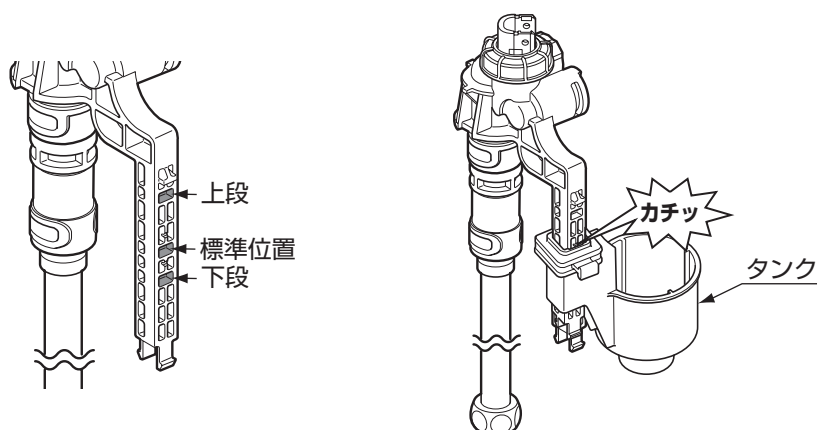
※ボールタップのタンク取付位置を確認しておいてください。



※代表例として、ピュアレストEX(SH321BF系)の図を使用しています。

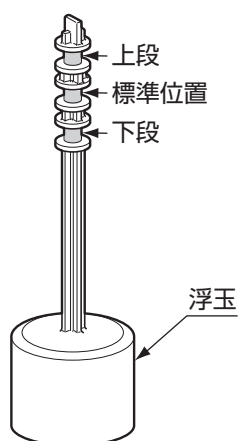
9 新しいボールタップを準備し、設定を合わせる

- ・ボールタップのタンク取付位置を交換前（8 参照）に合わせる。



10 ボールタップを取り付ける

- ④～⑧と逆の手順で取り付ける。
- ②浮玉を取り付けるときは、ボールタップの浮玉位置を交換前（5 参照）に合わせる。



⚠ 注意

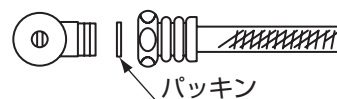


必ず実行

ボールタップに浮玉を取り付けたあと、浮玉レバー部の外れ、ズレおよび浮玉が外れていないか確認する
確実に接続されていないと止水不良の原因になります。

11 給水フレキホースと止水栓を接続する

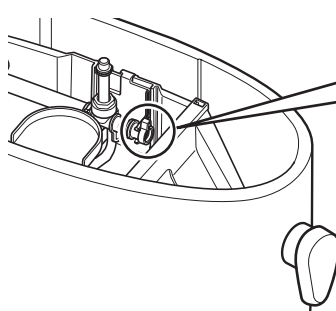
- ・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないように接続する。
- ・パッキンを右図の位置に必ず組み込む。



交換後作業

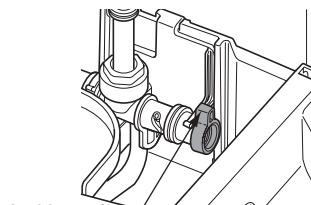
※交換後に下記 ⑫～⑭の作業を実施してください。

⑫ 切替レバーの向きを確認し、交換前の状態に合わせる

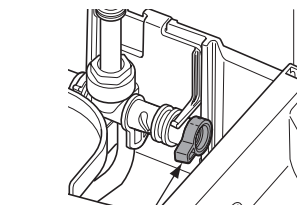


つまみが上向き（補給水なし）

つまみが前向き（補給水あり）



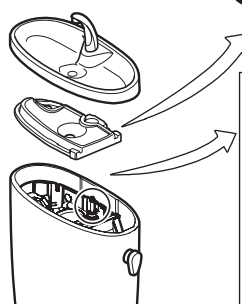
切替レバー



切替レバー

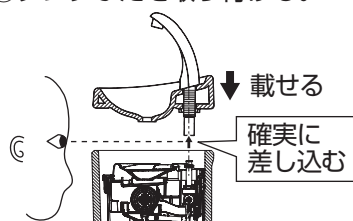
⑬ カバー(A)とタンクふたを元に戻す

一般地／水抜き方式の場合



①カバー(A)を樹脂タンクに合わせて取り付ける。

②タンクふたを取り付ける。



※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

⚠ 注意



必ず実行

カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
水漏れの原因になります。

※代表例として、ピュアレストEX(SH321BF系)の図を使用しています。

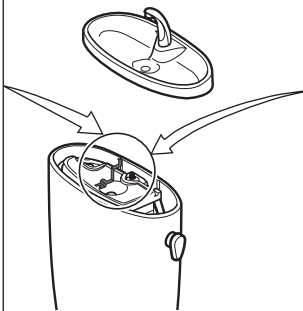
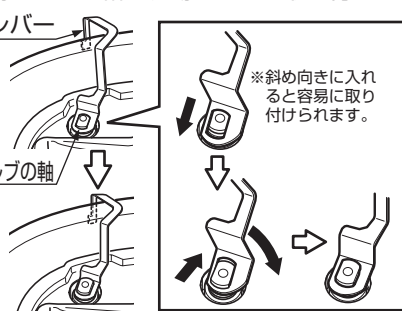
流動方式〈SH320/SH321BF系の場合〉

①カバー(A)を樹脂タンクに合わせて取り付ける。

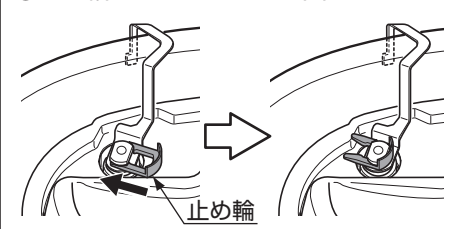
②流動バルブの軸に流動レバーを取り付ける。

流動レバー

流動バルブの軸



③止め輪をスライドさせ、固定する。



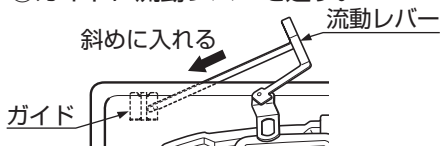
止め輪

④タンクふたを取り付ける。

流動方式〈SH220/SH221BF系の場合〉

①カバー(A)を樹脂タンクに合わせて取り付ける。

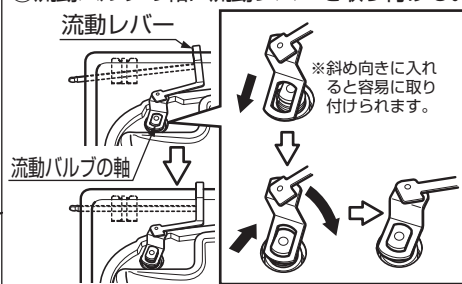
②ガイドに流動レバーを通す。



ガイド

流動レバー

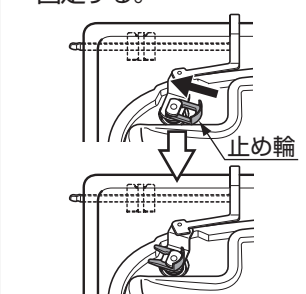
③流動バルブの軸に流動レバーを取り付ける。



流動レバー

流動バルブの軸

④止め輪をスライドさせ、固定する。



止め輪

⑤タンクふたを取り付ける。

14 取り付け完了後の確認をする

- ・ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・ 水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）“給水フィルターの掃除”を参照して掃除を行う。
- ・ 凍結のおそれがある場合は、取扱説明書（お客様保管）の凍結予防方法に従って凍結予防を行う。